



気分はガラス作家？

西伊豆中学校ガラス体験

新町長所信表明

4

安良里診療所駐車場拡張

6

旧洋ラン跡地調査へ

9

6月8日(木)に黄金崎クリスタルパークで、西伊豆中学校2年生によるガラス体験教室が開かれました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

第2回臨時会

4月28日に平成29年第2回臨時会が開会され、専決処分の承認2件、議会人事による議長・副議長などの選挙6件、第1・第2常任委員と議会運営委員の選任、副町長・教育長・監査委員の選任、教育委員会委員の任命など同意5件を行ないました。

正副議長選挙の結果、議長に高橋敬治氏、副議長に山本智之氏が当選しました。



議長 高橋 敬治



副議長 山本 智之

日頃より、町議会活動をはじめ町政発展のために、多くの皆さまに温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

このたびの臨時会において議員各位からの推挙により、議長の要職に就任することになり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議会は、町政の進展と住民福祉の向上のため、「町の具体的政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」の役割と責任を強く認識し、広く住民の声を町政に反映させていかなければなりません。

議長として、一人ひとりの意見を尊重し、集約し、公平で公正な運営に努めてまいります。

今後とも町民の皆さまには、ご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

このたび、議員の皆さま方の推挙を賜り、副議長の要職に就くこととなり、責任の重さを感じております。

公選された町民の代表者が、合議制のもと組織される議会での討論・審議が公平で公正に運営されますよう誠心誠意努めてまいります。

当町には、生産者人口の減少等による税収減少に加え、少子高齢化対応への社会保障インフラ整備など難しい課題が幾重にもございます。

その答えを導き出すため、町民の皆さまとともにその課題と正面から向き合い、町民・行政・議会がそれぞれの立場から、それぞれの視線で討論を重ねることが大切だと思います。

明日に繋がる「まちづくり」を実現するため、町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

各常任委員会の構成

第1常任委員会

委員長



山田厚司

副委員長



芹澤 孝

委員



西島繁樹

委員



堤 和夫

委員



増山 勇

〔所管〕 総務課・窓口税務課・健康福祉課・
会計課・教育委員会

第2常任委員会

委員長



加藤 勇

副委員長



堤 豊

委員



山本洋志

委員



山本智之

委員



山本 榮

〔所管〕 まちづくり課・防災課・環境課・
産業建設課・企業課

議会選出監査委員

堤 和夫

議会運営委員会の構成

委員長 山田厚司

副委員長 加藤 勇

委員 堤 豊

委員 芹澤 孝

組合議会の議員

西豆衛生プラント組合

山本洋志 西島繁樹 増山 勇

下田地区消防組合

芹澤 孝 山本 榮

一部事務組合下田メディカルセンター

堤 豊 加藤 勇

審議された案件

- ・専決処分承認
(一般会計補正予算
・税条例)
- ・選任、任命などの同意

副町長



つばき たか ふみ
椿 隆史氏
【田子】

教育長



きよ の ひろ あき
清野裕章氏
【宇久須】

監査委員



やま もと としあき
山本 豊氏
【田子】

教育委員会委員



すず き ひで き
鈴木秀輝氏
【仁科】

あなたの声が届く町政へ

平成29年度
西伊豆町長

所信表明(抜粋)

所信表明

今回の選挙は、町政の『継続』か『新しい風』かを問う選挙であったと思います。39歳の若さに期待する声と、このままではいけないという危機感のすえ、皆さまから託された舵取り役であると思っております。

町民や職員の声をしっかりと聞き、『あなたの声が届く町政へ』を念頭に、たくさんの方のご意見を真摯に受けとめ、町政運営に果敢に挑戦してまいります。

初登庁以来、各課の課題を精査しながら指示を出し始めているところですが、思っていた以上に多くの課題があり、早急に対処しなければならない反面、行き過ぎた行政改革のためか、人員不足に悩んでいるところです。

移住・定住対策

西伊豆町は、合併後12年が経過し、合併当初の人口から約2,300人も減少しております。要因は、現役世代の減少による少子化や、就職・進学を機に町を離れる方の数に対して、西伊豆町に移住され、定住

にいたる方との数が不均一なため、全体的に若者が徐々に減ることが最大の原因だと思っております。10年後20年後を見据えて町政運営をする上で、大変危機感を持っているところです。

人口減少によって、水道は利用者数の減少に伴う給水収益の減少により、水道料金の値上げも余儀なくされます。

地区町内会は、役員のなり手不足で今までのような運営ができなくなることも考えられます。

消防団にいたっては、そもそもなり手となる若者がいないため、現在の団員に負担をかけ続けなければならない状況にもなっております。

現役世代の減少によって、今後介護職や看護職の人手不足も予想され、現在の60代70代の方々が最も苦勞をなさるのではないかと心配をしております。そのために、移住定住の促進を行ってまいりたいと思います。移住体験ツアーの充実を図るとともに、1次産業をはじめとする産業の活性化や、6次産業化を図ることによって就労場所の拡大を図り、西伊豆に移住しても生計が成り立つという状況を作りたいと思います。

観光商工業者と連携

既存の観光商工業者との連携も大事だと思っております。

お店がなければ服も買えません。商店がなければ食材も買えません。施工者がいなければ家を建てることも改修することもできません。直接的な支援はできないものの、間接的な支援は必要になります。

外貨を稼ぐ一番の近道は観光産業が元気になることです。観光産業が活性化することによって、設備投資や仕入れなど、内需の拡大も図ることができます。観光は観光業者、商業は商工会といわず、観光や商工業者と町が、しっかりと連携を取っていくことが必要だと考えております。

学校統合問題

できうるならば高台に幼・保・認定こども園・小学校を統合移転したいと考えております。また、敷地の調査結果が出るまでは場所の特定などをすることができません。子どもも、保護者も安心して通園・通学できる状況を作ってまいりたいと存じます。

中学校に関しては町内1校とし、これから保護者の皆さんへの説明会を行うなど、意見を真摯に受け止めてご理解いただけるように努めてまいりたいと存じます。

高齢者の生きがい対策

年をとっても住みやすいまちづくりも必要です。

高齢化が進む西伊豆町では、今以上に元気で長生きできる施策が必要です。現在グランドゴルフ・ゲートボール・歩け歩けなどをし、体を動かし健康に気をかけている方が多くなっています。

元気で長生きすることによって、介護保険の利用も減ります。運動だけでなく、既設のサロンの他、インドアの趣味をされる方が気軽に集まれる場所も必要であると思います。

自然環境の改善・活用

西伊豆町は海あり山ありの大変風光明媚な環境です。しかし、その環境を活かし切れていないように感じます。

その資源を活かし、農林漁業の活性化と、ひいては観光産業に結び付くような施策の推進と、今よりも良い自然環境になるように、適切な管理と改善が必要です。

農業では、町内に遊休農地もあります。田舎にスローライフを求めてくる方のニーズにこたえることも必要です。

漁業面では、獲る漁業から育てる漁業も必要ですし、海を育てるためには背後地の森林を整備することも必要です。

魚のすみかを作ることによって、ダイビングに来られた方がスポットとして活用できると思うので、漁礁などの整備をすることも必要だと思えます。

自主財源を増やす町づくり

西伊豆町の歳入の財源比率は、自主財源が約3割で6割以上が国や県などの依存財源に頼っています。町内での収入を求めるのではなく、都市部からの収入を得る必要があります。28年度には光ファイバー網が敷設され、都会と遜色ないインターネット環境が構築されました。都内の会社に出勤しなくても仕事が成り立つ人たちの移住や、町内の商品をネット通販で販売するなどの取り組みを行い、町外からいかに外貨を稼ぐかということ、今後の行政は行っていかなければならないと思っています。

大綱質疑

あなたの声が届く町政

質問 「あなたの声が届く町政」の具体策は。

町長 住民懇談会的なものは開催しませんが、各種団体から要請があれば出かけていき、お話を伺いたいと思います。

質問 インターネットを利用して、町長に直接つながるメールアドレスは開設しないのか。

町長 すでに、フェイスブックでメッセージが寄せられ、回答をしています。

行き過ぎた行政改革とは

質問 「行き過ぎた行政改革」とは。

町長 合併後、職員数の目標があったが、目標以上の人員削減が行われてきました。そのために、日常やらなければならない仕事に職員が追われ、今後行わなければならない仕事に職員が不足しています。これを回復したいものです。

移住定住の促進対策は

質問 まちづくりに関係し、移住定住の促進を行うため、遊休農地の利用を考えているようだが、就農場所などの提供を具体的にを行うのか。

町長 特定の場所はないが、田舎にスローライフを求めている方に、空き家とセットで町が仲介して対応したいです。

統合の事業費規模は

質問 幼稚園などを統合して高台移転する場合、総事業費の目算は。

町長 全体の規模で一桁の億ではできないと考えます。

補助金や交付金、過疎債を活用すれば、町の負担は億単位にはならないと考えますが、全体像が決まらないと分かりません。

喫緊の課題は

質問 喫緊の課題とその取り組みは。

町長 幼・保・認定こども園・小学校を統合しての高台移転と人口減少対策、産業活性化が喫緊の課題です。

質問 斎場建設については。

町長 喫緊の課題です。

安良里診療所駐

開催期間	6月6日から6月9日まで
審議した案件	町長提出議案 7件 諮問 1件 同意 2件 議員発議 1件
可決した主な議案	半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例 過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特別措置に関する条例 平成29年度一般会計補正予算 消防団員の公務災害補償条例の一部改正 人権擁護委員の推薦 1件 固定資産評価審査委員の選任 3件 など

こんなことが、決まりました。

半島振興法により 固定資産税を軽減します (全員賛成)

町内で特別償却設備を整備した場合、固定資産税の優遇措置のための条例を制定。

初年度 10分の1
初年度の翌年度 4分の1
初年度の翌々年度 2分の1

問 特別償却設備とは。

答 対象業種の製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業が整備する、建物及び付属設備、機械及び装置等の減価償却資産です。

問 対象事業者数は。

答 28年度では、16事業者でした。

過疎地域自立促進特別措置法により固定資産税を免除します (全員賛成)

町内の安定的な就業機会確保や産業振興を図るため、特別償却設備の新設・増設を行った場合、租税特別措置法の規定により、固定資産税を3ヵ年度免除するための条例を制定。

問 就業機会の増加に繋がらない場合は。

答 あくまでも就業機会増加の呼び水と考えていただきたいです。

特別償却設備の新設・増設ということで、仕事が増えると思われまますので、経済活動の手助けと捉えていただきたいです。



税制特例を活用してませんか

車場拡張

◎地区要望により、現駐車場横の民有地108㎡（約33坪）を取得、駐車場を拡張し、舗装することで利便性を向上させます

問 対象要件の中に1年以内に「土地の取得」と「建設の着手」という期日があるが、この確認方法は。

答 事業者の申請に基づいて、確認します。

国民健康保険税条例の一部を改正（全員賛成）

低所得者に対する保険税の軽減措置の拡充を図るために改正します。軽減判定所得を5割軽減は、26万5千円を27万円に、2割軽減は、48万円を49万円に引き上げるものです。

一般会計補正予算（第2号）（全員賛成）

歳入では社会資本整備総合交付金の内示額増額による財源更正、歳出では安良里診療所駐車場用地の購入と舗装工事で1,010万円、西天城高原キャンプ場施設解体工事・牧場の家バルコニー改修工事などで700万円、防災資機材等購入費482万など総額4,600万円の増額補正をします。

問 社会資本整備総合交付金の内示状況は。

答 交付金の内示額は、橋

りょう関係についてはある程度要望通りですが、道路関係は少ない状況でした。

今回、内示が確定したことにより、増額の補正予算を組みました。

問 今年度、社会福祉協議会の補助金を削減しているが、増額要望はなかったか。

答 要望はありませんでした。

問 自治総合センターコミュニティ助成金の詳細は。

答 助成制度内容は、区長会でお知らせしております。

今回は、仁科浜区の祭りの備品整備に助成します。

問 安良里診療所駐車場舗装工事は、ラインまで引く工事か。

答 ラインを引くと信号機の

感知器の方向に出る時に、不都合になる場合があります。

現状でも並んで駐車していますので、引く必要はないと考えます。

ただし、消防団第2分団詰所側の町道への出口には、停止線を引く予定です。

問 子ども子育てワンストップ関連システム整備業務委託の詳細は。

答 7月から児童手当、母子保健などの子育て関連の各手続きが電子申請化され、マイナンバーの「マイナポータルサイト」を利用した「子育てワンストップサービス」が実施されます。

その接続サービスを導入するための費用です。



拡張し舗装整備します

問 光BOXシステム使用料とは。また、その支払い先は。

答 光BOXに、西伊豆町専用のお知らせ画面を表示するための使用料です。
支払先はNTTです。

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正 (全員賛成)

政令の一部改正に伴い、公務災害補償の基準を改正するものです。

消防団分団詰所条例の一部を改正 (全員賛成)

消防団第2分団詰所の移転に伴い、各分団詰所の住所を明記し、管理部署を「防災課」とするものです。

観光案内所設置条例の一部を改正 (全員賛成)

宇久須観光案内所を深田キャンプ場から黄金崎クリスタルパークに移転するものです。

第3回臨時会 平成29年5月11日

機構改革を実施 (賛成8：反対2)

基幹産業である観光・商業活性化をさらに図ることを目的に、「企画課」と「観光商工課」を統合し『まちづくり課』に、「防災環境課」を防災に特化した業務を行う『防災課』と斎場建設に一つの課で対応するための『環境課』に分割します。

問 どういう過程をへて、条例改正にいたったのか。

答 副町長、教育長の就任後、総務課長を含め4人で検討した後、課長会議に諮^{はか}って決定しました。

問 4月に機構改革をしたばかりなのに、この時期にあえて行う理由は。

答 今行えば、最短で5月中には課の再編ができ、残り10ヵ月は新しい課で業務が

行えます。

引き継ぎも最小限で済むと考え、このタイミングで決めました。

問 処務規則の変更は。

答 条例可決前ですが検討に入っています。

問 観光が基幹産業ならば、あえてわかりにくい「まちづくり課」に再編成する意味があるのか。

答 その通りかもしれませんが、「美しい伊豆創造センター」や「ジオパーク」の窓口が「企画課」です。

それらを商工観光の面と結び付けて考えると、窓口を1つにした方がスムーズではないかと考えます。

反対討論 機構改革したばかりで、その結果を検証もしないまま改革するのは、拙速と考え反対します。

賛成討論 防災に特化することや、斎場についても一つの課で検討し方向を出すということは、時機がっていると考え賛成します。

審議された案件

人権擁護委員候補者の推薦

固定資産評価審査委員会委員を選任



かげやま やえみ氏
【安良里】



すずき こと 鈴木 せつ子氏
【宇久須】



かた おか のぶ まさ 片岡 圓正氏
【田子】



すだ のぼる 須田 昇氏
【中】

一般会計補正予算 (第1号) (賛成9: 反対1)

一般会計に「旧洋ランセンター跡地」調査業務費3,385万円の増額、セキュリティクラウド関連ネットワーク構成変更業務583万円などの情報管理費の増額で、総額4,000万円の増額補正をします。

旧洋ランセンター跡地調査

問 「旧洋ランセンター跡地」調査は、文教施設再編に向けての業務と思われるが、工程表は作ってあるのか。
答 内々には教育長、教育委員会事務局長とで作っております。

問 ボーリング調査の必要性はあるのか。

答 ボーリング調査をしてみないと、そこに建物が建てられるのか判断ができません。

そのために、調査をさせていただきますたいです。

問 ボーリング調査の詳細は。

答 コンクリート構造物、その背後の盛土、支持地盤の確認を行うためのボーリング調査を計画しており、一カ所に2本、深さは20mを考えています。

問 その他の調査は。

答 今回の調査は用地の健全性の確認ですので、平面測量や建物建築に伴う安全性の確認は含まれません。

問 調査結果は、いつでるか。

答 6ヵ月から8ヵ月が必要と考えています。

問 平面測量はしないのか。

答 今回の調査結果をみて判断します。

園・小統合移転

問 幼・保・認定こども園の統合移転であれば保育行政だけだが、小学校を加えると教育行政も関わってくるが、問題はないか。

答 保育行政と教育行政が違うのは承知しています。

全国的に同一敷地内での実施例もあり、問題ないものと考えています。

問 教育長の考えは。

答 教育の内容は違いますが、教育の大きな課題としての連続性を活かしたいと考えます。

問 最終的には、幼・保・認定こども園・小の統合移転をどうしたいのか。

答 ボーリング調査の結果をみないと前に進めないもので、今は、軽々に移転の話

はできません。

問 ボーリング調査費の計上がすべて一般財源だが、統合移転事業の総事業費を試算し、許容範囲を持つべきでは。

答 まだ、すべての試算はしていません。

敷地が確定しないと試算はできないと考え、まずこの土地が使えるかどうか判断したいと考えます。

問 補助金の率は。

答 当町は過疎地域であり、補助基準は10分の5.5です。

情報セキュリティ強化

問 セキュリティクラウド関連ネットワーク構成変更業務の詳細は。

答 県がインターネットの接続出入口を集約化し監視機能の強化、メールの無害化などをするシステムを構築します。

そこに接続するための業務です。

問 補助金はないのか。

答 ありません。



「旧洋ランセンター跡地」ボーリング調査箇所

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本 洋志	山本 智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田 厚司	西島 繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決 結果	
第2 回 臨 時 会	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	当選	
	専決処分の承認 28年度一般会計補正予算（第7号） [8,000万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	承認	
	専決処分の承認 税条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	承認	
	副町長の選任	×	○	○	○	—	○	×	○	×	○	○	同意	
	教育委員会教育長の任命	×	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	同意	
	監査委員の選任（識見者）	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	同意	
	監査委員の選任（議選）※	○	○	○	○	—	○	○	○	退	○	○	同意	
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	同意	
第3 回 臨 時 会	課等設置条例等の一部を改正 [役場の組織を一部変更するもの]	×	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	29年度一般会計補正予算（第1号） [4,000万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	可決	
6 月 定 例 会	半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定 [半島振興対策法により固定資産税を減免するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定 [過疎地域自立促進特別措置法により固定資産税を免除するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	国民健康保険税条例の一部を改正 [軽減の対象拡充によるもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正 [政令改正によるもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	消防団分団詰所条例の一部を改正 [分団詰所位置の変更・追加するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	観光案内所設置条例の一部を改正 [宇久須観光案内所の移転によるもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	29年度一般会計補正予算（第2号） [4,600万円を追加するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	適任
	固定資産評価審査委員会委員の選任 [鈴木氏]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任 [片岡氏]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任 [須田氏]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議会委員会条例の一部を改正 [町の組織変更によるもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正 [報酬の日割り計算を追加するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決	

議長（高橋敬治）は採決に加わりません。 ※該当者は採決に加わりません。

基幹産業の振興は

(町長) 事業者への間接支援と連携で



山本 洋志 議員

質問 「基幹産業振興に最大限のバックアップとサポートの充実」と訴えているが。

町長 観光は、トップセールスに限り、商工は、事業者への間接的支援と商工会との連携で振興策が図れると考えます。水産業は、採るだけでなく育てることも必要だと考えます。

質問 「旧らんの里堂ヶ島」にテーマパークを創り、産業振興を図っては。

町長 町が所有権を持っていないので、自由に使いません。誰か経済活動してくれる方あればと考えます。

人口減少対策は

地域特性を生かした産業づくり

質問 「急務の課題」の人口減少対策は。

町長 地域特性を生かした産業づくりと地域おこし協力隊を活用し、雇用の場をつくり、子育てと仕事の両立、妊娠・出産・子育てまで、切れ目のない支援の環境づ

くりが、出生数増加に繋がると考えます。

黄金崎公園の植栽は

花のある公園へ

質問 黄金崎公園に花いっばいの植栽をすべきでは。

町長 鹿や猪の食害のなか、なんとか花のある公園になるよう考えます。

指定管理後の対応は

今後のあり方を議論したい

質問 指定管理後の対応については、民間主導で運営をすることが望ましいと考え

るが、その後の運営方針は。

町長 12施設を一括指定管理しているので公設民営ともいえます。民間となると採算のとれる施設、そうでない施設、老朽化の問題などについて議論し、今後のあり方を決定したいです。

婚活対策は

異業種間交流を計画

質問 町内独身者の婚活対策の取り組みは。

町長 看護・介護職、観光業などの異業種間で交流会ができないか、若手職員に計画するよう指示しています。



指定管理後の運営方針は



山本智之 議員

園・小・中再編の方向性は

(町長) 政治責任で年度末ごろに

質問 これまでに文教施設等整備委員会から、再編の方向性の提示はあったのか。

町長 議事録によれば統合に合意できる内容になっていました。しかし、28年2月時点で「議会と協議し委員会に提示する」に留まり、提示はありません。

質問 中学校統合の構想は。

町長 一次的には町内2校の統合となりますが、10年後を見据え、松崎中学校との統合を視野に入れた議論が必要だと考えます。

質問 新たな文教施設等整備委員会での協議の進め方は。

町長 前回までの統合の方針を踏まえたうえで一旦仕切り直し、闊達な協議をしていただきたいです。

設置場所も、ボーリング調査中の建設予定地を含め、候補地の検討をしていただきたいです。

質問 委員会の答申は。

町長 答申は求めず、議事録などを参考に、町と議会が政治責任で決めます。

質問 方向性を出す時期は。

町長 今年度中に議論を重ね、年度末ごろに最終的な方向性を出したいです。

質問 統合できる予想時期は。

町長 詰めた議論を重ねても、予想より若干の時間がかかりそうなので、現時点では提示できません。

防災専門家の登用は

防災フェローの資格者を

質問 防災環境課を「防災課」と「環境課」に分けて編成した理由は。

町長 既存の人員配置などを

鑑みますと、重要な防災を担当する課が脆弱ではないかと判断しました。

質問 今後、危機管理の専門家の登用は。

町長 県の防災フェローの資格を持った方をアドバイザーとして登用予定です。

質問 「環境課」での斎場建設の検討は。

町長 検討も含め白紙です。

質問 「まちづくり課」の編成理由と構想は。

町長 町のブランド力を高めることが観光・商工に有益と考え、企画と観光課を合わせた編成にしました。



「高台移転のカギ」待たれるボーリング調査結果

津波避難タワー建設は

(町長) 地区との話し合いで



加藤 勇 議員

質問 東海地震説が発表されてから40年が経過し、港には胸壁や水門が整備されている。近年、より大きな地震や津波の発生が想定され対策が必要だが、津波避難タワーの建設は。

町長 タワー単体では負の遺産になります。複合施設として日々の管理ができ有効活用が可能であれば、地区の方々とは話し合い建設する方向で検討します。

質問 農協や漁協の建物を平日の勤務時間に限り、津波避難ビルとしては。

町長 津波浸水域の関係もありますが、適当な建物があれば検討します。

質問 胸壁などの改修について、各地で話し合いやアンケート調査が行われているが、現在の状況は。

町長 意見集約をしています。

質問 アンケート結果でも、地区住民の多くが胸壁の嵩上げを希望しているが。

町長 胸壁嵩上げには莫大な費用と年数・維持費がかか

ります。地区要望であれば対応は考えますが、補助金なども含め、簡単ではありません。

質問 津波避難路は地区住民の労力で整備されているが、「道幅が狭い、舗装がされていない、手すりがない」など、安全に避難できない箇所がある。高齢化が進み日常の維持管理も難しくなるが、再整備の考えは。

町長 地区の要望があれば検討します。

地区等負担金の見直しは

30年度以降に向け検討

質問 街灯は住民の生活を守るために必要です。電気料の地区負担金を減額か無償にできないか。

町長 本年度分は議決されていますので、30年度以降分については、検討します。

質問 宇久須浪入ふれあい海浜広場は、高齢者のランドゴルフ場として使われ、生きがい対策として十分に寄与している。健康に過ごすことで医療費の削減にもつながる。地区負担金を無償にできないか。

町長 本年度分は議決されていますので、30年度以降分については、検討します。



津波避難タワー建設は



堤 豊 議員

観光資源の中心は堂ヶ島地区か

(町長) 異論はありません

質問 西伊豆町の観光資源の中心は、堂ヶ島地区であると考えが。

町長 異論はありません。

質問 堂ヶ島地区の「旧らんの里堂ヶ島」跡地を町で購入し、再開発する考えは。

町長 難しいです。

誘客宣伝補助は

観光協会を通じて支援

質問 観光業者へ計画的に予算をつけて、誘客宣伝活動をさせてみては。

町長 観光協会、商工会などの業者に積極的に参画していただき、誘客活動を支援します。

質問 観光業者への誘客宣伝費の補助は。

町長 業者単体に対してはできませんが、観光協会を通じて支援していきます。

質問 観光が西伊豆町の基幹産業であると認識しているが。

町長 異論はありません。

質問 堂ヶ島地区は、昭和40

年頃より民間業者が中心となり開発を進め、現在の観光地となった。今後の西伊豆観光についての考えは。

町長 町の魅力を積極的にアピールし、お客様が何を求めているか、いろいろな声を聞き、ニーズに合わせた誘客が必要と考えます。

厳しい財政状況だが

攻めの姿勢で

質問 厳しい財政状況の下、臨時職員の増員など経費増加の施策が必要か。

町長 攻めの姿勢で新たな業

務に積極的に活動していくには増員も必要と考えます。

質問 財政力指数0.33と県内平均を大幅に下回っている。

費用対効果を考え、今後の財政状況を改善させる施策はあるか。

町長 「稼ぐまちづくり」に着眼し、今まで行っていないことにも着手したいと考えます。

質問 今後とも基幹産業である観光に積極的な支援を期待するが。

町長 新たな業務の推進、前向きな攻めの姿勢で町政運営をしていきます。



西伊豆町の観光資源の中心「堂ヶ島」

西伊豆町総合計画は

(町長) 策定する予定



増山 勇 議員

質問 西伊豆町総合計画を策定するのか。

町長 策定する予定です。

質問 手法と時期は。

町長 今年度中にどのような方法がいいのか検討し、実施については、来年度以降になります。

高校生の通学費補助は

実施に向け検討

質問 さらなる子育て支援として、小学生・中学生への給食費補助は。

町長 検討します。

質問 給食費の滞納状況は。

教育委員会事務局長 現在はありません。

質問 小学生・中学生の給食費を全額補助した場合の費用額は。

町長 29年度では、約2,300万円です。

質問 全国では、40パーセント位の市町村が、すでに実施している。

「ふるさと納税」なども活用し、補助しては。

町長 子育て支援も必要ですが、高齢者支援も考えながら検討します。

質問 高校生への通学費補助は。

町長 私も議員のとき提案しました。通学費用の負担リスクが無くなるように、実施に向け検討します。

齋場は松崎町と

担当課で協議

質問 松崎町3月定例会で齋

※西豆自治会とは、西伊豆町と松崎町の町長、副町長、議長、副議長により構成され、交通安全協会の事務など、2町の共同処理業務について話し合うための組織です。

場建設について「西伊豆町と話し合いをしている」と松崎町長が答弁しているが、前町長からの引き継ぎは。

町長 文書に示されているものではありません。

先日の西豆自治会(※)で話題になりました。

質問 両町で過疎債を活用しては。

町長 新たな松崎町長が決まる12月以降本格的な協議になると考えます。担当課で協議するよう指示します。



住民みんなで支援を



山田厚司 議員

住宅関連移住・定住支援策は

(町長) 必要と考え今後検討

質問 住宅関連の移住・定住支援策は独自の制度がない。相乗効果をあげるため、子育て支援策と同時に実施し、住宅リフォーム・住宅取得・民間賃貸住宅家賃などの補助制度は。

町長 すべて必要なことですので、検討します。

質問 空き家解体補助も公約にある。

空き家や空き家バンク活用のために実態把握をすべきでは。

町長 「盆・正月に帰省すれば空き家ではない」「壊れそうな家が空き家だ」「貸し出し可能なら空き家バンク登録もできる」など、認識の違いや解釈の差があり難しいです。

ふるさと納税返礼品は

他市町の動向を参考に

質問 加熱するふるさと納税の返礼品競争に対して、総務省より自粛要請がでたが、当町の指摘対象は。

町長 高額なもの、金銭類似性の高い感謝券、返礼割合が3割を超えるもの、住民に対する返礼品が、指摘対象です。

質問 対応は。

町長 住民に対する返礼品は、7月1日受付分より廃止します。その他は他の市町の動向を参考にします。

質問 実施時期は。

町長 まだ決定していませんが、納税者にとって切り替えがわかりやすい時期を考えています。高額なものは取扱店と早急に調整する予定です。

ふるさと納税による活性化の流れを止めないよう慎重に考えたいです。

質問 体験型や趣向を凝らした返礼品の拡充は。

町長 業者に率先して提案してもらいたいです。

質問 ふるさと納税の使い道は。

町長 現況と変わりませんが、用途を明確にしたクラウドファンディング的なことも考えています。

質問 機構改革後の体制は。

町長 従来どおり職員2名とプロジェクトチームで対応します。



住宅関連支援で移住・定住促進

複式学級は回避できたのでは

(町長) 一概にはいえません



芹澤 孝 議員

質問 文教施設等整備委員会の議事録に「複式学級回避は教師一人を雇えば良い」との趣旨の発言があった。

今年度、雇用した講師を補助教員でなく学級担任とすれば、田子小の複式学級は回避できたのでは。

町長 当然そのとおりだと思いますが、財源を伴うものなので一概にはいえません。

質問 法律改正により公立の小・中学校の学級編成については、県の基準に従わなくてもよくなった。

市町の教育委員会の自由裁量となった複式学級編成に対する考えは。

教育委員会事務局長 教育委員会は、県の基準にそって複式学級を実施していくことにしています。

質問 教育委員に、このような条文（市町の教育委員会で自由裁量ができる）があることは、知らせたのか。

教育委員会事務局長 そのような情報提供を行った事はありません。

質問 委員が知っていれば違う展開も考えられた。

知らないため複式学級ありきの方向で議論が進んでしまったのでは。

教育委員会事務局長 正規職員1名を雇用すると1,000万円弱、臨時講師では230万円程が町の負担となります。

どのような雇用をするかは、財政負担を考えました。

質問 時代の流れである、空き家解体費の補助は。

町長 私も議員のとき提案しました。

議会の理解が得られれば行いたいです。

質問 小規模住宅解体基金を創設し、柔軟に対応できるようにしては。

町長 検討します。

質問 移住・定住を促進するためにも、空き家リフォームに補助する考えは。

町長 検討します。

質問 空き家データベース計画策定は。

町長 作りたいです。

空き家解体費補助は 理解が得られれば



田子小学校の複式学級



西島 繁樹 議員

災害対応型の自販機設置は

(町長) 推進する

質問 被災時には、その初期段階及び避難所において飲料を確保する事が重要だ。

近年、飲料自動販売機の中には、災害時に被災者に対し無料で飲料を提供する災害支援型の自動販売機があり、メーカーとの災害支援協定を進めている。

西伊豆町でも、「災害対応型紙コップ式自動販売機」の設置と「災害支援協定」の締結を検討する考えは。

町長 メーカーに確認したところ、伊豆市修善寺までが提供のエリアであり、それ以南は光ファイバーの関係で、現在は使えません。

西伊豆町内も昨年度、光ファイバーが敷設されたので、近い将来設置可能ということです。

防災課長 従来の自動販売機での対応も可能となるよう、メーカーとの協議を進めていきます。

入学前援助は

準要保護も対象

質問 要保護児童生徒の新入学時に必要な学用品（ランドセルなど）の費用は、入学後の支給となっている。

今般、文部科学省から単価を従来の倍額にし、新たに「就学予定者」を加え、30年度から予算措置を行うと通知された。

この措置により要保護児童生徒は、入学前に学用品の費用が支給されることになる。

しかし、この措置は、準要保護児童生徒がその対象になっていない。

現状を鑑み^{かんが}た場合、当町においては準要保護児童生徒も対象に実施すべきでは。

町長 子育て支援の観点からも経済的に厳しい状況の家庭への支援として、実施します。

教育委員会事務局長 入学前支給（年度をまたいで前年度末までに支給）については、12月に補正予算を計上したいです。



災害支援型自動販売機に切り替えを

議会の動き

人事評価・普通交付税制度の概要を調査

第1常任委員会は、5月24日に総務課所管の、人事評価・普通交付税制度の概要についての所管事務調査を実施しました。

人事評価制度は、将来的に人事異動、給与などに活用するためのもので、業務評価と能力評価を1次評価者、2次評価者が評価します。

さらに副町長が総合評価基準点により評価を加え、町長が最終評価を決定します。

目標設定や自己評価は、設定の難しさや客観的評価の曖昧さなど課題もありますが、有効活用したいものです。

普通交付税は、財政が脆弱な西伊豆町にとって頼みの財源で、今後、合併特例交付金が減額されるなど、自主財源確保に努めなければなりません。

第1常任委員長 山田 厚司



人事評価でモチベーションアップ

みなと公園トイレ改修工事・赤地山配水池耐震化工事などを現地視察

第1第2常任委員会は監査委員と共に、6月12日に28年度予算で執行された工事箇所の現地視察を行いました。

みなと公園トイレ改修工事（田子地区）

県産の木材を9割以上使用し、木材使用は塩害対策にもなっています。

屋根や軒の高さが抑えられ、周囲の景観とも馴染んでいます。

また、し尿処理水や雑排水をトイレ洗浄水などに再利用するシステムを採用しています。



みなと公園トイレ改修工事

赤地山配水池耐震化工事（安良里地区）

既存配水池は耐震性がなく本体自体の老朽化も著しいため、新たに200m³のステンレス製パネルタンクを新規に設置しました。

場内の配管は既設の送水管を使用し、高さ1.8mの門扉とフェンスで囲われています。



赤地山配水池耐震化工事

わが町の遊歩道 ①

今回からは町内にある10本の遊歩道をご紹介します。まずは「黄金崎遊歩道」からです。

黄金崎遊歩道

三島由紀夫の小説に「一枚の黄金の板のように見える」と表現された黄金崎は夕陽を浴びて増々美しく輝きます。

“こがねすと”からスタートし、いったん「早咲きさくら」の丘に登って駿河湾を眺めてから馬ロック、富士見の丘へと進みます。(右に続く)



このあたりは数百万年前の海底火山の噴出物でできていますが、その後長く続いた噴火活動によって温められた地下水がすっかり岩石を変質させてしまいました。

黄色や褐色に色を変えた崖の上を歩き江戸時代の石切り場を通って海岸へ下ります。海岸では変質によってできたキラキラの鉱物も見つかります。

初夏にはユリが咲き乱れるお花畑に登って終点です。大島桜やヒメユズリハなどの海岸植生も楽しみましょう。

全て歩くと約5kmのコースです。

町内探訪 23

WAJIN (和柄Tシャツ工房)



代表(デザイナー)
こま い まこと
駒井 慎さん
(白川在住)



WAJINホームページ URL <http://wajin.info/>

12年前から白川に工房を移し、和柄Tシャツのデザイン・製作・販売をしている「WAJIN」代表の駒井慎さんにお話を伺いました。

質問 和柄Tシャツの発想は。

駒井さん 海外へよく旅をし、日本に伝統的な感性のTシャツが無いことに気づき、20年前から独学で始めました。

質問 販売先は。

駒井さん オンラインショップと、成田空港ターミナルビル内の2店舗。アメリカのショップなどに卸しています。

年に2柄(版)など新作をデザインしながら、常時30柄(版)ほど揃えています。

[取材 山本智之・堤 豊]

平成29年7月14日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL (0558) 52-1962 FAX (0558) 52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962